

2023.12月号

おすすめ本

をご紹介します

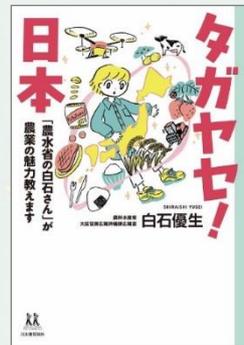


『目でみる数字』
岡部敬史／文 山出高士／写真 東京書籍

身近にあるモノの数に関する疑問や不思議を写真で詳しく紹介しています。読み終わった後、モノに対しての見方が変わる写真集です。

『タガヤセ！日本「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます』
白石 優生 // 著 河出書房新社

最近の農家さんは「半農半X」。「推し農家さん」がいると地産地消が進む!? 農林水産省職員兼 YouTuber が、最新の農業から日本の農業の未来まで語ります。

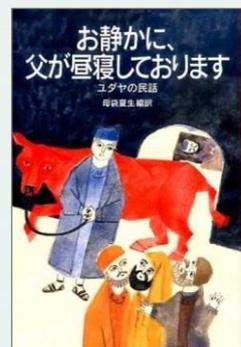


『アルジャーノンに花束を』
ダニエル キイス／著 小尾 芙佐／訳(早川書房)

知的障がいをもつチャーリーが、白ネズミのアルジャーノンと同じ手術で天才となったが故に知る現実が日記を通して綴られています。本当の幸せとは何かを問いかける不朽の名作です。

『お静かに、父が昼寝しております ユダヤの民話』
母袋 夏生／編訳 岩波書店

古代ローマ時代に世界各地に散っていったユダヤ人たちは、住み着いた土地のお話と混ざり合った独特な民話を生み出しました。ユダヤの教えや民話を集めた短編集です。



編集:袋井市立図書館